

糸島市地域公共交通計画(案)に対する市民意見(パブリックコメント)とその対応について

頁	該当箇所	意見の概略	対応
2	<p>計画策定の背景と目的 この改正法では、交通事業者等の関係者が協議しながら公共交通改善・移動手段確保に取り組める仕組みを拡充するとともに、地域の輸送資源を総動員して持続可能な運送サービスの提供の確保を推進するため、地方公共団体が中心となって、交通事業者や住民などの地域の関係者と協議しながら、「地域公共交通計画」を作成・実行することが「努力義務化」されました。</p>	<p>計画書で最も大事な、背景と目的で、「努力義務化」されたので、この計画を立案したと思われる。 と思われる記載をしている。コンサルタントに任せると、このような記述が多々見られる。糸島市で問題にするべき課題を背景で明確にすべきと考える。</p> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口問題（過疎化、高齢化、就業人口）と交通機関の関係 2. 公共交通機関と民間交通機関の関係（すみ分けと補助のあり方） 3. 観光交通での市の役割（主体的な立場での収益確保） 4. “ ” 民間の役割（観光促進による地域活性化を図る市の役割） <p>等々、本来の目的を市民に分かり易く、平易な言葉（役所的言語の排除）で記述すべき。</p> <hr/> <p>特に、1－3の持続可能なSDG s と今回の公共交通計画の関係性が明確でない。 今、SDG s を入れておけば、それなりに考えているような安易なものに思えてしまう。</p>	<p>【対応】 ご意見を踏まえ、文章を修正します。</p> <p>【理由】 法改正の趣旨と、本計画の前計画にあたる網形成計画の実施を踏まえたうえでの策定であるという表現に修正しています。 課題背景については、後述（P23以降）記載のため、この項目では記載しないものとします。</p> <hr/> <p>【対応】 案のままとします。</p> <p>【理由】 1-3 の持続可能なSDG s と交通は、以下の点から関係性があると考えます。 ・持続可能で効率的な公共交通の維持 ・高齢になっても移動しやすい環境 ・公共交通を利用することによるカーボンニュートラルの削減など。</p>
67	<p>地域公共交通の課題</p>	<p>折角の現状把握が全くなされていない。コンサル的な表現で、意味曖昧で明確でない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通機関（JR）への取り組み 2. 公共交通機関（コミュニティバス、オンデマンドバス）への補助のあり方 3. 生活必需機関（医療、生活物資購入、教育、等）への市の役割・考え方 4. 地域活性化（観光）への交通機関への市の役割・考え方 <p>等々、本来議論すべき課題が、浮き彫りにならない。 結果として、次以降のページで記載されている「交通計画」で何を市としてやりたいのか伝わらない。</p>	<p>【対応】 案のままとします。</p> <p>【理由】 P66までの内容を踏まえた課題を、P67で集約しています。 またP70以降で市民生活を支えるバス路線等の役割や補助の在り方含め記載をしています。 また、観光面に限らず、本計画の他、本市観光振興計画など各種分野別計画と併せて市の役割や考えを示しています。</p>

糸島市地域公共交通計画(案)に対する市民意見(パブリックコメント)とその対応について

頁	該当箇所	意見の概略	対応
36	<p>「公共交通は日常生活の移動に対応できていない」と感じる (49.3%) 「公共交通は高齢者の移動ニーズに対応していない」と感じる (58.6%) ・市役所まで行くバスがない(深江までは来ているが、福吉方面はない)。(P39/福吉60代男性)</p>	<p>現状、日常生活の移動に対応できていない、高齢者の移動ニーズに対応していない。市役所に直接行くバスがないと指摘があるので、今後は「買い物、病院、市役所」の拠点を公共交通で結ぶ事も必要と思うし、志摩イオンは医療機関も集積しているので、志摩イオンや市役所に連結拠点(ハブ)機能を持たせることが必要と思います。</p>	<p>【対応】 案のままとします。 また、今後の計画の実行の際にご意見として、活かしていきます。</p> <p>【理由】 公共交通ネットワークは、各拠点間を、バスに限らず、鉄道など各種公共交通機関で連絡することで構成されるものと考え、本計画においても、その考えを基本にしているため、本意見も包括されていると考えます。</p>
38	<p>●交通事業者ヒアリングでは、高齢者等の生活移動確保に関して、タクシーの免許返納割引の増額や、高齢者等も利用しやすいMaaS等の構築といった課題があげられています。</p>	<p>将来的に見ても高齢者の免許返納についての具体的な言及がない、住宅街でバス停から自宅まで、坂がある方もこれから多くなるので、1人乗りの電動スクーターやゴルフ場にあるような自動電動カートを導入できるように九大と連携してほしい。</p>	<p>【対応】 「施策4-1(P92)」に追記修正します。</p> <p>【理由】 ご提案の取組も高齢者の生活移動を確保する手段の一つとして考えられますが、現在その確保手段として、まずはオンデマンドバスの活用を中心に再編を行っているところです。具体的な施策としては現行のままとしますが、オンデマンド化の目的としての高齢者の移動手段の確保についての記載を盛り込みます。</p>
91 (92)		<p>オンデマンドバスを志摩地区、二丈地区にも導入してほしい。</p>	<p>【対応】 案のままとします。 また、今後の計画の実行の際にご意見として、活かしていきます。</p> <p>【理由】 オンデマンドバスの導入については適宜検討の上、実施を判断することとなりますが、前原地区のみを言及し、検討対象としたものではありませんので、本意見も「施策4-1(P92)」に包括されるものと考えます。</p>

※項目列()書きは、修正後計画書のページ番号